

九〇〇家地鎮祭及び起工式祝詞

此の所に忌竹さし立て標縄引き延え神籠立てて招ぎ奉り令せ
奉る掛巻も畏き親神天理王命の御前に恐み恐みも白さく
親神の広き厚き御恵みを嬉しび奉り辱けなみ奉りて △△
出張所なる〇〇家はも生業の道もいと順調に夫婦心を一つに
合わせ子達□人も健やかに 教会より程近きメゾンホール△番
館に長年朝な夕な明るく暮らされしが この度旬満ちてこれの
市 町 番
平方米なる敷地に

木造コロニアル葺二階建一棟

平方米なる住宅を

建設株式会社の設計施工のもとに設け奉らむと 今し大地の
高き低きを曳きならし 御柱が根の礎を底つ石根に築き固め

むとして 今日の日 御酒御食海川山野の種々の味物を捧げ奉りて
え奉らむとし 御酒御食海川山野の種々の味物を捧げ奉りて

拝がみ奉らくを平らけく安らけく諾い聞し食して 工事に親し
む人々の身に怪我過ち無く美わしく竣工しめ給い やがてこの

住居に寄り集う家族親族はもとより〇〇家の一人ひとり身も
心も壮健に相和し相助け合うて これの所より陽氣ぐらしの

実を示しつつ 上り坂を辿らるると共に 底つ石根の極み 下つ
綱根の限り波布虫の禍いなく由留岐害うことなく 工事費の

月々の支払いも見事に終え 千代万代に堅磐に常磐に守り幸
え給えと恐み恐みも乞い祈み奉らくと白す